

地域のリサイクル情報誌

『ヴェーナス通信』



商標登録第 4882482 号

Venous (静脈) Venus (護美の女神)

第89号

発行 東多摩再資源化事業協同組合
 理事長 吉浦高志 編集長 紺野琢生
 東京都東村山市久米川町 1 - 16 - 65
 TEL : 042 - 395 - 9788
 FAX : 042 - 395 - 9787



長引く連日の猛暑、ゲリラ雷雨と世界的な気候変動を強く感じざるを得ない近頃の夏、資源回収業者である私たちは、どんなに暑い中でも、お盆休みも関係なく回収作業に従事しておりましたので、熱中症でダウンしてしまう社員も少なくありませんでした。そして、何とか夏を乗り越え、心なしか短くなったように感じる秋を迎えました。

春の嵐、花粉の飛散の少ない秋は、屋外作業者にとっては一番仕事がしやすい時期であり、資源物の発生量的にもいったん落ち着く時期ではありますが、すぐに年末・年始の発生期が待っておりますので、つかの間の休息を楽しみつつ、気を抜かずに日々の業務を遂行していきたいと思えます。

さて、わが国は2008年の1億2808万人をピークに人口減少社会に入っています。2023年は、前年から60万人も人口が減っています。人口が減るということは、廃棄物の発生もそれにつれて減っていくことになります。さらに、市民の皆様のご協力によるごみ減量の取り組み、企業によるサーキュラーエコノミー

(循環経済)、SDGsの取り組みが進んでいく中で、一層廃棄物の発生は減少傾向にあると言えます。廃棄物も、埋め立て等の単純廃棄から、再生利用されるものが増えていますが、それぞれの品目別にみれば、私たちの取り扱っている資源物を含めやはり減少傾向にあります。

そのような中で、さらに資源として取り扱えるものはないか、組合では日々研究を進めているところです。今回直言拝聴をご寄稿頂いたコアレックス信栄株式会社も、多くの製紙会社で禁忌品とされているいわゆる難処理古紙の再生利用に取り組んでいるメーカーで、組合の持つ回収ネットワークとうまく連携出来ないか模索をしています。一番懸念されるのが古紙の品質の悪化です。日本で回収される古紙の8割以上を利用する製紙会社では、製紙原料となる古紙の分別基準が厳しくなっていますので、基本的には公益財団法人古紙再生促進センターが定める品質基準に則って分別排出、分別回収をする必要があります。難処理古紙の混入は原則認められない前提で回収を行わなければなりません。また、難処理古紙が混入している製紙原料は、普通の製紙原料に比べて分別回収や古紙問屋での選別からメーカーでの処理工程まで、より手間とコストを掛けなくてはなりません。

こうした課題を解決しながら、現状可燃ごみに混入しているリサイクル可能な紙類を活かせる仕組みづくりに取り組んでまいります。市民、行政の皆様のご理解・ご協力をお願い致します。

●ヴェーナス通信 89号 目次●

- P 1…『リサイクル可能な紙類の回収・再生拡大に取り組む』 代表理事 吉浦 高志
- P 2…直言拝聴『難古紙再生技術を駆使したサステナブルな発展』 コアレックス信栄株式会社 鯉淵様
- P 4…リサイクル掲示板『古布・古着として回収できるものはまだまだあります』
- P 6…日資連全国大会奈良大会に参加、回収車両運転者安全講習会を開催
- P 7…富士の製紙工場を見学、コラム、各市のイベントに参加、今後のイベント案内
- P 8…組合事務所移転のお知らせ、行事・行動、ヴェーナス短信、編集後記

直言拝聴

『難古紙再生技術を駆使したサステナブルな発展』

コアレックス信栄株式会社
東京営業所 営業二部

部長 鯉淵 道男 様

この度は、貴重な寄稿の機会を頂きありがとうございます。また、先日は組合の皆様が弊社富士工場までお越し頂き、重ねて御礼申し上げます。少々会社の宣伝になっってしまうところはご容赦を賜りつつ、私たちの取り組みについてご紹介させていただきます。

私たちコアレックスグループ（コアレックス三栄株・コアレックス信栄株・コアレックス道栄株）3社の総称は、独自の古紙再生技術によって地域や消費者に寄り添う紙づくりを実践し、老若男女・貧富の差に関わらず消費されるトイレレットペーパーはさまざまな人生に関わる紙と捉え、「につぼんの暮ら紙（し）」づくりを支える会社として人々の暮らしと環境に貢献し

続けています。そして、コアレックスの芯なし製品の生産ライセンス供与や、もしもの災害時を想定し、連携して被災地へトイレレットロールの安定供給を維持するための提携工場・提携会社を組織するオールコアレックスグループとして、様々な観点から世界的な課題である地球環境問題に貢献しています。

●地産地消と環境配慮商品の開発

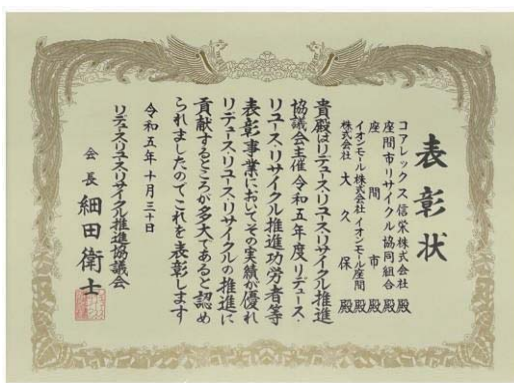
コアレックスグループは、神奈川県川崎市、静岡県富士市、北海道俱知安町にある工場のそれぞれが地産地消を目指し、製紙メーカーとして排出された紙資源をリサイクル、再生紙製品（トイレレットペーパー・ティッシュペーパー）に循環させる取り組みを行っています。コアレックスの主力商品である再生紙一〇〇%の製品は従来では可燃ごみとして処理する他なかった禁忌品や難再生古紙を原料として再生し、高品質な製品に再生します。特に、芯のないトイレレットペーパーは、ロールを引き出す際に最後までキレイに解け、紙管が残らないということで、この製品の生産技術は大きな特徴を有しております。また、新型コロナウィルス感染症拡大以降はふるさと納税を含め消費者の皆様がECサイトを

を活用し日用品を購入するという文化が広まっており、ふるさと納税の返礼品の取り扱い拡大や、通販限定で販売する商品の取り扱いを増やす取り組みも行っていきます。消費者ニーズと供給ニーズが一致して初めて出荷されることから、無駄な配送が発生せず、工場から大型車両で流通センターに運搬するCO2を削減できます。更に無駄な梱包を省略し、長尺芯なしの製品とティッシュペーパーを詰め合わせる事でお得感とエコを両立している製品となっております。こうした取り組みにより、製紙業界では唯一『デカボスコア』（注1）を獲得しており、消費者が一目見て環境に優しい製品であると認識できることが大きく評価を伸ばしていると感じています。

（注1）デカボスコア…脱炭素を意味するデカ（Deca）ボス（bos）ナイゼーション（decarbonation）の略。博報堂の新規事業開発組織「ミライの事業室」と三井物産が組んで二〇二二年一月から発足したプロジェクト。生活者一人ひとりのアクションで脱炭素社会を目指す指標としてスウェーデンの企業ドノミが開発した「The2030Calculator」などのCO2排出量可視化ツールを使い、従来の商品やサービスと比べたCO2相当量の削減率を表示するマーク。

●雑がみの回収拡大に向けて

コアレックスグループでは雑がみや機密文書の取り扱いを拡大し、可燃ごみとして処理されてしまう資源を少しでも再生利用する活動を日々重ねています。二〇二三年には神奈川県座間市が行政回収する品目を記したごみカレンダーをコアレックスグループで扱える品目へ拡大し市民周知を行い行政回収の雑がみを再資源化しています。この効果は絶大で、コアレックスグループが取り扱える古紙の品目に切り替えたことによって以前と比べ一・四倍の再資源化に繋がっています。この実績は高く評価され、リデュース・リユース・リサイクル推進協議会の令和五年度表彰において会長賞を受賞しました。



令和5年度リデュース・リユース・リサイクル推進功労者等表彰状

コアレックスグループは家庭紙業界の中でも最後発の古紙再生メーカーであり、製造業でありながら自らを環境業を行う中小企業と説明しています。創業当初から創意工夫に溢れた会社であると自負しており、東京の夢の島と呼ばれるゴミの埋め立て処分場を目の当たりにした当時の黒崎昇社長（現会長）は、「カモメが飛んでいるように見えるが、よく見ると紙が舞っている。ゴミの中にはこんなにも紙が有るのか。勿体ない、我々はゴミとして捨てられてしまっている紙を資源として使い尽くし、ゴミ問題に立ち向かおう。」という想いから、現在の難再生古紙を含めた紙資源リサイクルを可能とする異物除去システムを構築した経緯を持っていきます。約六十年前に考案、研究開発の末生まれたリサイクル技術開発の功績は、当時の古紙回収率目標五五%の達成に大きく寄与する技術として評価され、平成七年に科学技術庁長官賞を受賞しました。

●**業界の垣根を超えた「環境業」**

コアレックスグループが捉える環境業は、業界の垣根を越え、SDGs（持続可能な開発目標）に取り組み企業・自治体にも波及しています。最近では株式会社ハバリ

ーズや株式会社カウネットと取り組む消費者が参加しやすいアルミ付き紙パックの回収サービスの構築や株式会社エスパルスと清水エスパルスのホームスタジアムであるIAIスタジアムから発生する使用済み紙製容器の再資源化とトレットペーパーの循環を実施しています。更に、吉本興業株式会社と共に、遊びや笑いを通じて環境活動と呼びかけるワークショップの実施など活動は多岐に渡っています。また、サステナブルシブヤプロジェクトとの連携事業として渋谷区観光協会と共に渋谷ハチ公生誕100年を祝う企画を盛り込んだ様々なイベント（HACHIFEST in渋谷・TOKYOもしもFES渋谷・ふるさと渋谷フェスティバルなど）では紙資源リサイクルの啓発活動を実施、二〇二四年度以降も継続して渋谷区を訪れる世界中、日本中からのツーリストを対象として活動を実施しています。

●**世界が目にする取り組み**

コアレックスの取り組みはその他にも世界各国が目にするイベントでも採用されています。二〇二一年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会での全競技会場・全施設を対象とした包括的な



選手村での紙製容器の回収の様子

使用済み紙製容器包装再資源化の取り組みは、新型コロナの影響によって限定的なものとなりましたが、選手村から発生する使用済み紙製容器を食べ残しなどの残渣を簡易的に取り除き未洗浄のまま紙資源として収集、他の古紙原料と同様にコアレックス信栄㈱の設備に投入し製品化する世界でも類を見ない取り組みを実践しました。同様に二〇二三年に開催されたG7広島サミットでは今まで瓶で提供されていたミネラルウォーターを紙製容器で提供、口栓やアルミ蒸着されている紙パックをそのまま製紙原料として使用できるコアレックスグループの独自技術によって再資源化するという、日本が誇る古紙再生技術を世界に発信しました。

また、災害対応として各省庁とも連携を密に、平成三十年七月西日本豪雨への被災地支援物資の供給や新型コロナウイルス感染症拡大時のダイヤモンドプリンセス号

への支援物資要請への対応、直近でも能登半島地震への支援物資提供をいち早く行い、二〇二四年一月一日から十一月一日までに被災地に対し、トレットペーパー約十七万ロールなどの生活必需品を提供しました。

●**まとめ**

コアレックスは今後もSDGs、の目標達成に向け自社単体の活動に留まらず、福祉作業所に最終加工工程を委託することで環境と福祉を織り交ぜながら雇用の創出につなげるなど業界の垣根を越えた活動を広げていきます。更に、二〇二四年物流問題に対しても、製品の長尺化や待機時間の削減のためのシステム改善などに取り組みながら、消費者にいち早く生活必需品であるトレットペーパー・ティッシュペーパーを届けるために日々研究開発を続けており、いち家庭用衛生紙メーカーという枠にとらわれない独自の戦略が一步先の未来課題を常に見据え、解決に導いていく結果に繋がると信じ、紙は紙からをモットーに掲げ邁進しています。今後も、地域密着のリサイクル事業を通じて社会に貢献されている貴組合とも連携を深めることができればと考えておりますので、よろしくお願いたします。

リサイクル掲示板

③古布・古着として回収できないもの

一方、下記のような、繊維製品ではないものや、電気製品が付属したもの、ワタが入っているもの、汚れているものなどは**回収できません**。

【衣 類】 雨合羽、レッグウォーマー、足袋、はんてん、作業

着、企業や学校の制服、柔道着、体操着、ウェット

スーツ、手袋、アームカバー、空調服など

【寝具類】 電気毛布、犬や猫などペットに使用した毛布、布団、

枕、クッション、座布団、こたつ布団など

【小物類】 トイレカバー、トイレや台所のマット、台拭き、鍋つかみ、ランチョンマット、

ナイロンタオルなど

【その他】 靴、スリッパ、ブラインド、ロールカーテン、暗幕、端切れ、裁断くずなど



④資源回収で集めた「古布・古着」はリユース・リサイクルされます。

話は変わりますが、イベントや説明会などで市民の皆様とお話をしていると、行政回収や集団回収で資源ごみとして出された「古布・古着」がごみとして処分されていると思っている方もいらっしゃいます。ごみにしないようにフリーマーケットに出しているとか、ネットで売り買いしているのでエコだとおっしゃる方もおられました。また、最近では某大手ディスカウントショップがカーテンやタオルの回収をしていたり、アパレルショップでも古着を回収していたりしますが、そこまで持って行かなくても、いつもの資源回収に出せば、同じようにリユース・リサイクルされていますので、ちゃんとエコです。

なお、回収されたもののうち、およそ60%は国内外で古着としてリユースされています。残りは、工業用のウエスや反毛材（車の内装材などに使用されるフェルト材）などにリサイクルされます。20%程度はリサイクル出来ない不純物が混入していると言われてしますので、分別の徹底をお願いします。

⑤円滑なリサイクルのために

最後になりますが、「古布・古着」の円滑なリユース、リサイクルを進めるためには、正しく出して頂くことが必要です。出し方のポイントは、以下の通りです。

- ・油の染みだもの、汚れているものは出さないで下さい。
- ・上記③で説明した回収できないものは出さないで下さい。
- ・濡れると資源にならず、焼却処分になってしまいます。ビニールにしっかり入れて頂いても、湿気でカビが生える可能性があります。**雨の日には「古布・古着」を出さないで下さい。**
- ・「古布・古着」はトラックの上の方に積むことが多いため、あまり大きな袋に詰め込み過ぎると重くなり、回収作業に支障をきたします。45ℓ程度の袋に入れて出して下さい。
- ・その他、お住いの自治体のルールに従って出して下さい。

市民の皆様のご理解・ご協力をお願い申し上げます。

リサイクル掲示板

古布・古着として回収出来るものはまだまだあります

資源回収で集めている「古紙・古着」のうちの「古着」、自治体によっては、「古布」と表記しているところもあります。私たち業界では、「ぼろ」と呼んでいます。この「古布・古着」ですが、皆様はどのようなものが回収に出せるかご存じですか？「古着」と言うと、洋服など着るものしか出せないような印象がありますね。逆に「古布」というと、布類全般が出せるように思えますが、反物や布地の端切れなどは、回収に出せないことになっています。今回のリサイクル掲示板では、着るもの以外にどのようなものが回収に出せるのかを中心に、改めて「古布・古着」について、ご説明したいと思います。

①身に着けるものは、ほとんど回収出来ます。

下記の通り、皆様が身に着けているものは、ほとんどリサイクル出来ます。



【アウター】革製品、コート、ジャケット、ジャンパー、フリース、

ダウンジャケット、ジャージ、ベスト、カーディガンなど

【トップス】シャツ、Tシャツ、トレーナー、パーカー、ポロシャツ、セーター、

ブラウス、Yシャツ、スーツ、キャミソール、ワンピースなど

【ボトムス】ジーパン、ズボン、スカート、ショートパンツなど

【肌着・下着】左右揃った靴下、下着（男女）、パジャマ、肌着、補正下着、レギンス

【和服】着物、帯、浴衣

※クリーニングまで出す必要はありませんが、ほとんどがリユースされますので、洗濯されたもの、タンズにしまわれていたものを出して下さい。

②このようなものも回収が可能です。

その他、どのようなものがリサイクルできるでしょうか？経済産業省認可団体の日本古着リサイクル輸出組合によれば、次のようなものも回収可能です。

【寝具類】毛布、シーツ、布団カバー、枕カバーなど

【小物類】スカーフ、ぬいぐるみ、バッグ、ベルト、帽子、エプロン、

ハンカチ、手ぬぐい、タオル類、バスローブなど

【その他】水着、スキーウェア、カーテン、レースカーテンなど



※自治体によっては、分別の基準が異なる場合がありますので、お住いの地域の分別のルールに従って出して下さい。

第五二回日資連全国大会 奈良大会に参加して

六月十五日(土)午後二時より奈良県奈良市のホテル日航奈良において第五二回日資連(日本再生資源事業協同組合連合会)の全国大会奈良大会が開催されました。

当組合からは、吉浦高志代表理事(日資連理事・東資協相談役)、小畑和夫副理事長(東資協監事)、紺野琢生専務理事(日資連及び東資協理事)、福田雄二理事(日資連理事・東資協副理事長)、水野彰理理事、吉浦亜矢子(東資協理事)、福田計盛(日興紙業商事)、吉浦龍之介(久米川紙業)、藤本哲司(藤本チェーン)の九名が参加しました。



宿泊先の奈良ホテル前にて参加者の集合写真

厳かに入場し、奈良資協鶴田隆昭理事長の歓迎挨拶、日資連飯田俊夫会長の挨拶があり、続いて一連の総会報告が行われました。

その後、表彰式、地元奈良県選出の高市早苗衆議院議員をはじめとする来賓祝辞などが続き、大会決議宣言と次期大会開催地決定報告(東北六県・仙台)が行われ、東北六県再生資源組合連合会の高田会長の閉会の辞をもって第一部は終了しました。



高市早苗経済安全保障大臣による祝辞

第二部の記念講演は、株式会社冒険の森 代表取締役 伴戸忠三郎氏の「未活用林に価値を生み出す、持続可能な仕組みづくり」と題する講演、及び天理大学 准教授 柔道部監督 穴井隆将氏の「柔道を通して育んだこと」と題する講演がありました。

第三部の懇親会は、資源リサイクル推進議員連盟の松原仁衆議院

議員(日資連顧問)、石井苗子参議院議員をはじめとして奈良県議会議員・議員、各種業界団体代表者、業界紙記者、第二部の講演者なども参加して二百人近い参加者で開催されました。クラリネット、ピアノ、バイオリン、パーカッションによるカルテット演奏や地元のダンスチーム(倭の國)による余興なども披露され、お祭りのような賑やかさの中、参加者は積極的な情報交換を行っていました。

当組合からの参加者は、シカで有名な春日大社、東大寺、興福寺、奈良公園からほど近い由緒ある奈良ホテルに宿泊しました。翌朝の食事では、奈良なら(・)ではの「おかいさん」がメインの「茶がゆ定食」をいただき、奈良・京都の寺社仏閣を見学し、うん十年前の修学旅行を思い出しながら、帰京しました。(藤本チェーン・藤本)



交通法規を守って、横断歩道を渡るシカ

資源回収車両運転者安全講習会
去る、七月二四日(水)エコプラザ西東京 多目的スペースにて西東京市資源回収車両運転者安全講習会が開催された。

昨年、資源回収作業中にて発生した、死亡事故の被害者の方への哀悼の意を表し黙祷を捧げた後に、小畑副理事長から開会あいさつが述べられ開会し、組合関係者全員で『東多摩再資協 安全・行動宣言』を唱和した。

吉浦理事長のあいさつでは、回収作業員への取り組みに対する感謝を述べられ、暑い中ではあるが、無事故の継続をお願いされた。来賓としてご臨席頂いた、西東京市みどり環境部ごみ減量推進課長 西川毅様より、暑い中での日頃の作業に感謝の言葉を頂いた。



西東京市回収を担当する3社から数十名が参加した安全講習会

紺野専務理事より、安全講習の趣旨説明があり、田無警察署交通課 坂橋様を講師に安全運転講習会が開催された。

交通安全に関するDVDを視聴した後、どの様な原因で事故が起きやすいのか、事故が起きやすい季節・時間帯、ルールをひとりひとりで守ること、安全確認の大切さや自転車、歩行者との事故の多さなどを講演して頂いた。

自分は運転に慣れているから大丈夫という気持ちから事故を引き起こしてしまうということなどを知り、日々の安全確認などを怠らずに運転業務を行うことを考えさせられた。

最後に(株)藤本チェーン 代表取締役 藤本 哲司氏の謝辞及び閉会のあいさつをもって安全講習会は閉会となった。

(有)土井商店 土井 三幸

組合視察研修

〈富士市の製紙工場を見学〉

去る六月二十九日(土)、組合員各社の社員を含む二一名で富士市にあるコアレックス信栄(株)富士工場の見学に行きました。同工場には、数年前に東資協青年部で見学に向っており、その記事は、本誌七六号に掲載しております。

再び見学に向ったのは、現場の回収員から、自分たちの集めた古紙がどのように再利用されているのか、製紙メーカーを見てみたいという声があったことと、家庭紙メーカーの中でも難処理古紙を積極的に再利用している同工場を見学し、組合として可燃ごみに混入しているリサイクル可能な紙類を掘り起こすため、回収可能な紙類を増やしていくことを検討しているからです。

古紙全体の品質を悪化させないように分別を徹底しながら集める仕組みづくりが必要なこと、再利用するにはコストがかかることなど、まだ課題は多いのですが、現場の声を聞きながら取り組んでいきたいと考えています。



巨大なトイレトペーパーの原紙の前で集合写真

コラム 『スウェーデンの教育制度から見えるもの』

北欧スウェーデンは、基礎学校が七才から一五才まで九年間入学一年前には幼稚園の様なプレスクールがある。その後高校三年大学四年まで入学金・学費無料、教科書・ノート・ペンなども支給され、進入学試験はなく希望すれば全員進学できる。さらに基礎学校六年間は通信簿もなく、児童の能力に応じてのびのび学んでいる。

スウェーデンの消費税は二五%と高額だが、国民全員で育児と教育に参加し、若い親たちだけが苦勞することがなく、大学生が自立できる奨学制度も充実しており家賃半額の援助も受けられる。

北欧各国は、基礎学校の授業に早くからタブレットを使用してきたが、スウェーデンは、児童の「読む能力も書く能力も毎年低下している」ことに危機感をもって対策を検討してきたと言う。その結果昨年度から、低学年からタブレット学習をやめて紙の教科書使用を実施した。

日本の教育制度には、親の負担方法・タブレット授業に移行など、少子化対策と共に財源を含め早急に真剣に検討を要する課題が山積していると痛感する。

各市のイベントに参加

そしてわが国では近年、新聞や雑誌本類の購読が年々減少して文化のバロメーターと言われた紙の知識や習慣が消えてしまおうのではと危ぶまれている。(TKR)

今年も、春・夏に開催された各市のイベントに出展しました。小平市環境グリーンフェスティバル(五月)、東久留米市環境フェスティバル(六月)、きよせの環境川まつり(七月)、東村山市総合防災訓練(九月)です。多くの市民にご来場頂き、資源物の分別に関する啓発活動、資源物分別ゲームやアンケート、小物雑貨類の無料回収を行いました。左記の通り、今後もイベントがありますので、皆様のご来場お待ちしております。

●秋のイベント開催案内●

- 東村山市エコライフフェア
10月20日(日) @秋水園
9時30分開会~15時
育児用品、食器類、文房具などの小物雑貨類の無料回収、古紙分別ゲーム
- 小平市エコライフフェア
11月16日(土) 10時~14時
@中央公園
資源物に関する展示とアンケート
小物雑貨類の無料回収

十月より組合事務局が移転

令和六年十月一日より、組合事務局が左記の場所に移転しました。新しい事務所は、前の事務所から徒歩一分程度のすぐ近くです。目の前に一台車を止められます。お越しの際は、インターホンを鳴らして下さいましたら、応対致します。

【新事務所住所】
東村山市久米川町一ー一六ー六五
※電話・FAX等は変わりません。



赤が新事務所、青が旧事務所です。

行事・行動

【六月】
一日：東大和市環境市民の集い
：日資連第五二回通常総会

四日：小平RC責任者会議
八日：東久留米市環境フェスティバル

十日：定例理事会
十一日：人材確保オーダーメイド支援事業
十二日：小平RC関連JV会議

十四日：東資協理事会
十五日：日資連全国大会奈良大会
十七日：小平市リサイクルきやらばん

十九日：古紙再生促進センター臨時理事会
二十四日：業務・集団回収委員会
二十五日：共同受注検査(西東京市)

：東村山市エコライフフェア実行委員会
二九日：コアレックス信栄視察

【七月】

二日：小平RC責任者会議

七日：日資連関東地区代表者会議

八日：小平RC関連JV会議

十一日：東村山市エコライフフェア実行委員会

十二日：東資協理事会

十五日：財務委員会・定例理事会

十九日：小平RC関連JV暑気払

二〇日：家族慰安会

二二日：業務・集団回収委員会

二三日：共同受注検査(西東京市)

二四日：資源回収車両運転者安全講習会

二七日：きよせの環境・川まつり

三十日：東リ協理事会

三一日：東村山市収集業者連絡会議

【八月】

五日：小平RC責任者会議

七日：小平RC関連JV会議

：共同受注検査委員会

：東村山市エコライフフェア実行委員会
九日：東資協理事会

十二日：財務委員会・定例理事会
二六日：業務・集団回収委員会・財務委員会

【九月】

三日：人材確保オーダーメイド支援事業

：小平RC責任者会議

四日：東村山市エコライフフェア実行委員会

七日：東村山市総合防災訓練

十日：東リ協理事会

十三日：小平RC関連JV会議

：東資協理事会

十六日：定例理事会

二一日：日資連理事会

：関資連総会

二三日：業務・集団回収委員会

●ヴィーナス短信

「最古の古紙持ち去り判例」

寛政九年(一七九七年)、現在の岩手県盛岡市にあたる南部藩で、大量に保存していた公文書が持ち去られた。書類は、古紙としてロウソクの芯や表具屋に高値で売れたという。

犯人は掃除係の使用人で、九年間で約八千枚盗んだ。何と「打ち首獄門」の厳罰に処せられたそうだ。(TKR)

編集後記

直言拝聴をご寄稿頂いた鯉淵様、ありがとうございます。御社の環境業としての様々な取り組みや社会貢献について、学ぶべきところが多いと感じた次第です。また、六月の見学の際もご対応頂き、重ねて御礼申し上げます。現状禁忌品としてリサイクル出来ない紙類の多くが、受け入れが不可能であること、難再生古紙と言われる紙類を適切に処理し、その排水の浄化まで含めた設備が整っていることを改めて理解致しました。初めて製紙メーカーを見学したのも多く、目からうろこが落ちたと申しておりました。難再生古紙の回収を始めるにはまだ様々なハードルがあると思いますが、引き続き情報交換をし、前に進めてまいりたいと考えています。

さて、各方面で人材不足が叫ばれる中、私たち組合各社を選んで頂く強みはないか考えてみました。エッセンシャルワーカーとしての安定性、残業はほぼなく、定時で帰れる、AIDラレコによる安全運転管理で安心してハンドルを握れる、健康的に体を動かすお仕事、地球環境の保全に貢献できるなど。如何でしょうか、共に良い汗を流してみませんか？(TKO)